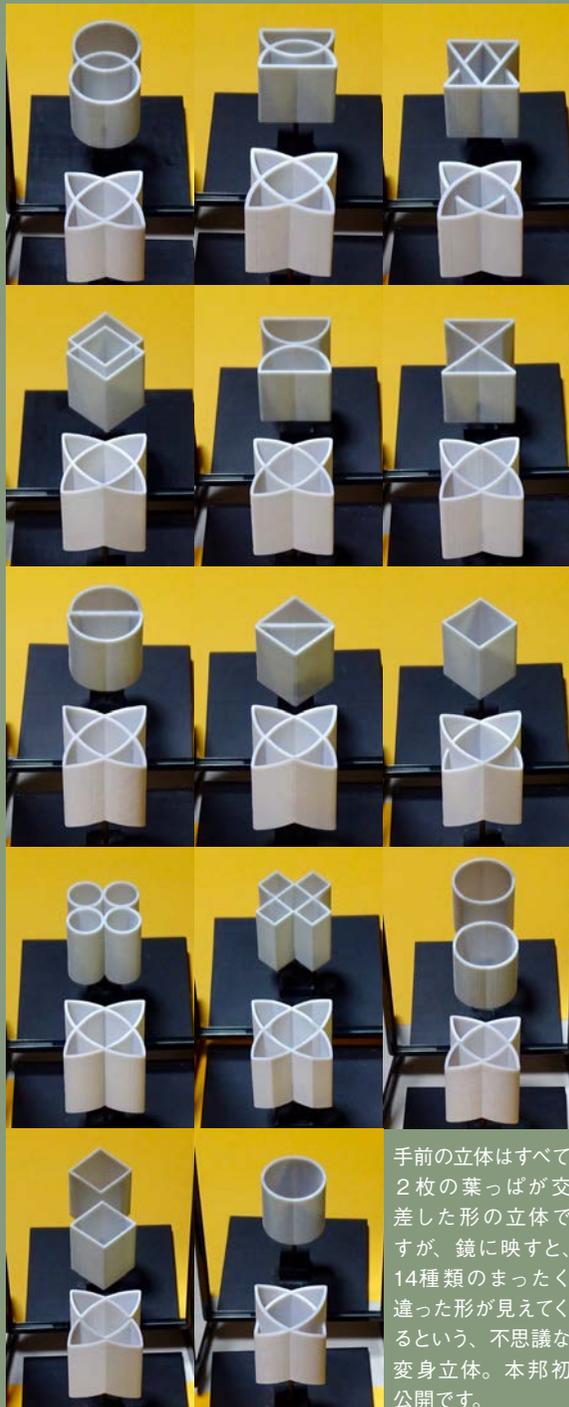


初公開！ 交差する葉っぱの14種の変身



手前の立体はすべて2枚の葉っぱが交差した形の立体ですが、鏡に映すと、14種類のまったく違った形が見えてくるという、不思議な変身立体。本邦初公開です。

冬季特別展示

錯覚展 2021

杉原教授の不思議な世界

大好評の「錯覚展」を今年も開催。
冬のイケビはワクワクおもしろい！

子どもから大人まで大好評の「錯覚展」。東大名誉教授、明治大学研究特別教授で、世界中の研究者が覇を競うベスト錯覚コンテストの世界大会で何度も優勝実績を持つ、錯視研究の第一人者、杉原厚吉先生が制作した錯視作品を展示します。杉原教授は、鏡に映すと姿が変わったり、玉が坂道を上っていくように見えたりする錯覚という現象の仕組みを数学を使って解明しています。本当のことが分かっていても、それとは別のものを見てしまう脳の不条理な振る舞いを体感し、視覚の不思議さと危うさについて学んでみましょう。

2020年12月、杉原教授はベスト錯覚コンテスト2020世界大会で4度目の優勝！ その受賞作品「3次元シュレーダー階段」も展示します。そのほか、驚きの作品をエントランスホールで披露します！

八海山麓スキー場に 巨大な「雪の錯覚すべり台」が出現します！

開催予定の八海山麓ホワイト☆カーニバル2021で「雪の錯覚すべり台」を2年ぶりに公開します。2020年のカーニバルは残念ながら少雪とコロナ禍で中止となりましたが、4回目となる今回は、まったく新しい形に挑戦します。どんな「雪の錯覚すべり台」になるか、お楽しみに！



八海山麓ホワイト☆カーニバル2021

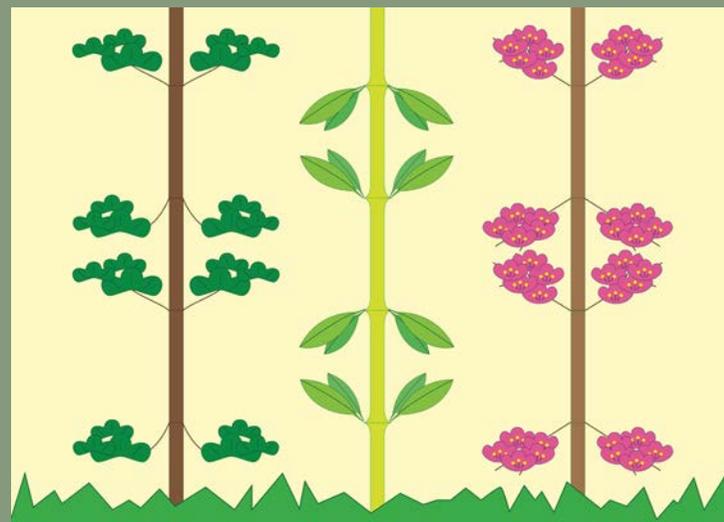
期日：2021年3月初旬開催予定

問合せ先：八海山麓スキー場

TEL 025-779-3103

※中止になる場合がありますので、事前にお問合せください。

2019年3月、ドローンで撮影した完成間近の「雪の錯覚すべり台」
写真提供：新潟セルテック建設株式会社



【松竹梅のミューラー＝リヤー錯視】松も竹も梅も、枝の付け根の間隔は同じです。でも、内向きに伸びているところは短く見えます。この錯視は、ミューラー＝リヤー錯視と呼ばれています。

【会期】2021年

1月23日(土)～4月19日(月)

展示替え休館日：3月9日(火)～12日(金)

会場：1階多目的ホール・エントランスホール

後援：南魚沼市教育委員会

南魚沼市 池田記念美術館

新潟県南魚沼市浦佐5493-3 TEL 025-780-4080

開館時間：午前9時～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

※最終日の4月19日(月)は午後3時終了

休館日：毎週水曜日

展示替え休館日：3月9日(火)～12日(金)

入館料：大人500円、各種割引あり、高校生以下無料

池田記念美術館では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館のみなさま全員に、マスクの着用、手指の消毒、検温の実施、氏名・連絡先の記入を、お願いしております。ご面倒をおかけしますが、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

錯覚展 2021

杉原教授の不思議な世界

■プロフィール

杉原厚吉（すぎはら こうきち）

1948年岐阜県高山市生まれ。73年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了後、通商産業省電子技術総合研究所研究官。80年工学博士。81年名古屋大学大学院工学研究科助教授。91年東京大学工学部教授、2001年同大学大学院情報理工学系研究科教授。09年明治大学研究・知財戦略機構特任教授となり、先端数理科学インスティテュート所長を経て、現在は研究特別教授。東京大学名誉教授。ベスト錯覚コンテスト優勝4回（10年、13年、18年、20年）、準優勝2回（15年、16年）の実績を持つ錯視研究の第一人者。入門書から専門書まで著書多数。また、テレビ番組にも数多く出演している。

【展示】タペストリー

- ①カフェウォールビル、②シマヘビの押しくらまんじゅう、③セミのダイエット、④ホテル、⑤花と葉っぱの色変化、⑥秋の林、⑦松竹梅のミュラー＝リヤー錯視、⑧色鉛筆の色変わり、⑨昼と夜、⑩末の広がらないネクタイ、⑪夜の嵐、⑫胴長飛行機と翼長飛行機

【上映】不可能立体シリーズのDVD作品

【展示】進化する不可能立体（第1世代～第11世代）、多シルエット立体

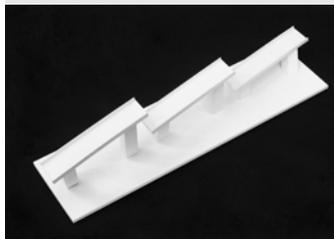
第1世代：だまし絵立体

絵には描けるが立体としては作れないと思われていた「不可能立体の絵」の中には、立体として作れるものがあります。それが「だまし絵立体」です。



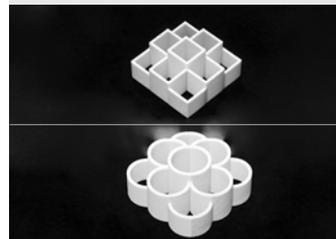
第2世代：不可能モーション立体

立体自体はありふれた形に見えるのに、ある動きを加えると物理法則に反したあり得ない印象を作り出す立体です。



第3世代：変身立体

鏡に映すと形がまったく変わって見える立体です。姿かたちが変身して、別の形になります。



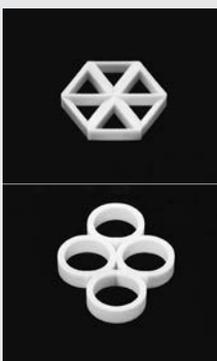
第4世代：透身立体

鏡に映すと一部分が消えたり、なかった部分が現れたりする立体です。まるで透明人間のようです。



第5世代：トポロジー攪乱立体

鏡に映したとき、トポロジー（図形や立体のつながり方を表す性質）が変わって見える立体です。



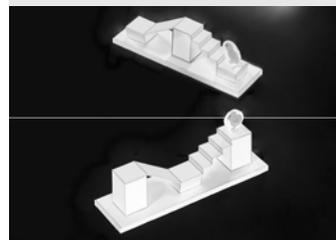
第6世代：軟体立体

矢印などを180度回転させて反対方向へ向けようとしても、徐々に形が変わって、また元の方向を向いてしまうような立体が「軟体立体」です。



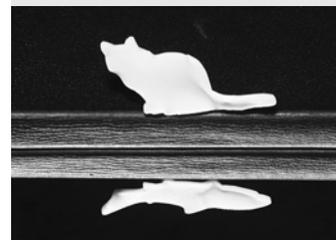
第7世代：高さ反転立体

立体を鏡に映したとき、高さが反転してしまう立体です。その結果、まったく別の立体に見えてしまいます。



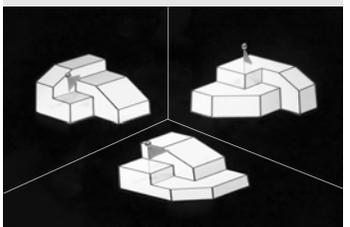
第8世代：鏡映合成変身立体

水平な鏡の上に置くと、上下対称ではない姿が浮かび上がり、意味がはっきりしたり、ストーリーが生まれたりする立体です。



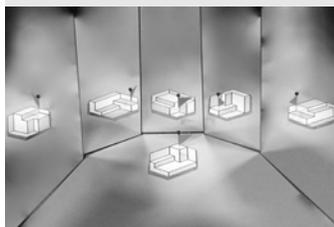
第9世代：3方向変身立体

3つの方向から見たとき、3種類の異なる姿が見えてくる立体が「3方向変身立体」です。



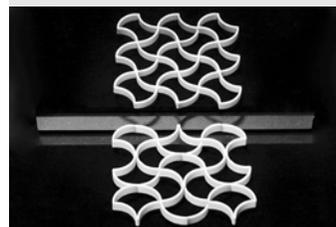
第10世代：6方向変身立体

6つの方向から見たとき、6種類の異なる姿が見えてくる立体が「6方向変身立体」です。



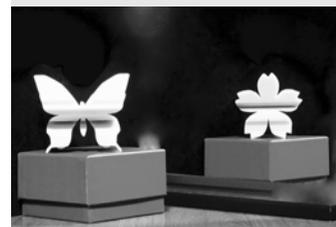
第11世代：変身タイルング

変身立体とタイルングアートを合体したもの。変身する前後のタイルとも、隙間も重なりもなく、平面を埋め尽くします。



多シルエット立体

鏡に映すと、アゲハ蝶が桜の花びらに変わったり、管楽器が弦楽器に変わったりします。2つのシルエットを同時に持つ立体です。



南魚沼市 池田記念美術館

http://www.ikedart.jp/
TEL 025-780-4080
FAX 025-777-3815
〒949-7302
新潟県南魚沼市浦佐5493-3



上越新幹線JR浦佐駅東口より約1km、徒歩15分
関越自動車道大和スマートICより車3分
六日町ICより車15分、小出ICより車10分

